

# たまいたさい 川柳



隅田川とさくら

令和3年（2021年）  
4月号（No.737）

日川協加盟

## 巻頭言

### 腰痛とくらし

腰痛患者が増えている。文明の近代化で歩くことが少なくなり、加えて巣籠もり生活を余儀なくされる昨今。運動不足により筋肉量が低下し肥満体質になり勝ちになる。また加齢による椎間板の弾力低下で背骨全体も変形してくる。それらから腰痛症状が発生する。

一方、腰痛とは病気の名称ではなく、腰の周辺が痛む現象なのだとする解ったようで解らない言われ方もある。骨や椎間板・神経などに異常がある病気としての腰痛と、それらには異常がない病気ではない腰痛があつて後者が一般的だとされる。つまり病院に行く必要がある腰痛と、自己努力で改善できる腰痛があると言うことだ。

しかし痛い、何とかして欲しい。じっとして居てさえ疼く痛さに悲鳴をあげ、ぎこちなく動かざるを得ないのだ。自己流治療で湿布を貼ってみたり、鎮痛剤を服用しても痛みは消えない。とうとう我慢できずに病院に行くと、問診から始まって視診・触診・X線検査・血液検査・尿検査・骨密度検査・CT検査・MRI検査・・・等。

診断の結果が、姿勢や疲労から生じる単なる腰痛症だつたり、ぎっくり腰のような急性腰痛であつたなら、先ずはホッとすべきだろう。しかし変形性脊椎症や椎間板ヘルニアだつたら、本格的な病気が。ましてや手術を要すると指摘されたら・・・さあ大変。

人間生物学の原点からも、腰が身体の要であることはご存知の通り。川柳活動の制約が運動不足にもなる。川柳人よ、お達者で在れ。

## 願法みつる

### 日日是好

巣籠もりへ貧乏神も居候  
薬師如来もワクチンを待ちわびる  
千の手に観音の身は一つだけ  
鳩小屋へランチが届くテレワーク  
影法師疲れた主と肩を組み

甘い誘惑苦い世渡り  
兎に角前へ後は野となる  
糖尿病の甘い世渡り  
注射より効く苦い漢方  
医療と介護いずれお覚悟